

こころざし

笑顔 チャレンジ ありがとう

令和8年度の榛原中学校が活動開始

【新任式・始業式】

4月7日、新任式・始業式が行われました。新任の先生方に向けて、代表生徒の村松かやさんからは温かな歓迎の言葉が述べられました。始業式では、校長先生から今年度榛中生のみなさんに頑張ってもらいたいこと、3年生の高塚利々さんからは力強い決意の言葉が述べられ、令和8年度のスタートが切られました。

〈校長先生のお話〉

新年度のスタートにあたり、2年生、3年生みなさん一人一人には新年度の決意、目標をもってほしいと思います。目標達成に向けて努力することが成長につながります。常に目標に向けて頑張ることで、人間的に一回りも二回りも大きく成長して欲しいと思います。

榛原中学校の学校教育目標は「こころざしを育てる」です。自分自身が自分のこころざしを一日、一日、育てていってください。先生方は、みなさんに対し、精一杯のサポートを約束します。

榛原中学校の重点目標は「笑顔 チャレンジ ありがとう」です。毎日みんなが笑顔で生活できるよう心掛けてください。一人一人の笑顔がまわりを明るく、温かくします。笑顔あふれる榛中にしましょう。

チャレンジをしてください。自分の決めた目標に向けて、初めて経験することにも、積極的にチャレンジして、新しい自分を作りましょう。

常にまわりの人に感謝の気持ちをもちましょう。自分に関わってくれる人や物や出来事に感謝の気持ちをもって生活をしましょう。

今年、榛中生が付けたい力について、昨年度を振り返って先生方で、時間をかけて話し合いました。「**自己指導能力**」これが今の榛中生に付けてほしい力です。自分は何をすべきか、自分は何をしたいのか、自らの行動を決断し、実行する力を「自己指導能力」と言います。

人から言われてではなく、自分の意志で、自分自身のルールやきまり、価値観によって判断し、行動する力。しかも、自分勝手に行動するのではなく、まわりの方の思いや主体性を尊重しながら自分の行動を決断し、実行する力です。今の自分を少しでも成長させるよう、意識をして日々の生活の中を積み重ねてみましょう。



今年榛中生につけてほしい力

自己指導能力

自分は何をすべきか、何をしたいのか

自分自身の意志で(自発的)
自分自身のルールや価値観で(自律的)
なおかつ他者の主体性を尊重しながら

自らの行動を決断し、実行する力

〈高塚利々さんの抱負〉

ついに私たちは3年生になりました。私たち3年生は、約1年後に榛原中学校を卒業してしまいます。私はその日までに頑張りたいことが3つあります。

1つ目は勉強です。勉強は受験に一番大切なものだと私は思っています。1・2年生の定期テストでは、得意教科と苦手教科で10点以上差がついてしまいがちでした。でも3年生では勉強を今の倍の時間やって、その差を埋めつつ、結果を出していきたいです。

2つ目は行事を思い切り楽しむことです。体育大会、文化発表会、修学旅行の楽しいこと、それ以外の苦しいことなどたくさんあると思いますが、その一つ一つをしっかりと心に刻むことができるよう、全力で取り組みたいです。その頑張る姿が、後に1・2年生にも伝わって、榛中の伝統として残っていけばよいと思います。

3つ目は生活習慣を見直すことです。私は特に早起きが苦手です。早く寝てもなかなか起きることができません。しかし、このままだと受験当日に遅刻してしまうかもしれないし、周りの人にも迷惑をかけてしまいます。さらに生活リズムも狂い、記憶力も低下していきます。だから私は勉強とは別に早起きもできるように頑張ります。

3年生になったばかりの今日ですが、これからやってくる「大切な日」に向けて、この3つのことを意識していきたいです。

【入学式】

4月8日（水）、新たに156名の1年生を迎えました。新入生代表の河野咲耶さんからは誓いの言葉、在校生からは、3年生の桐田咲穂さんから歓迎の言葉が述べられました。また、赤堀佑玖奈さんに校長先生から教科書を授与されました。

入学式を終え10日ほどが経ちましたが、学校生活には少し慣れてきたでしょうか。中学校での生活には、わくわくすることがたくさん待っています。新しい教室、新しい友達、そして新しい学び。ここでは、みなさんが自分らしく過ごし、いろいろなことに挑戦できる毎日が広がっています。うまくいかない日があっても、それも大切な経験。先生たちは、みなさんの成長をそばで見守り、いつでも力になります。

この3年間が充実した時間になるように、みなさんの学校生活が笑顔であふれることを願っています。



【津波避難訓練】

4月9日（木）に津波避難訓練が行われました。榛原中学校は地震による津波の恐れがある場合には、校舎北側にある山に避難をします。

さて、東日本大震災から15年が経ちました。皆さんが生まれる前に起こった地震です。発生当時、ここ牧之原市も、ゆっくりとした大きな揺れを感じました。東日本大震災は、マグニチュード9という空前の大地震でした。これだけでも被害ははかり知れないところに加えて、津波や福島原子力発電所の事故までもが重なり、未曾有の大災害となりました。死者・行方不明者約1万8000人のうち、およそ90%が津波によるとのことです。

災害から命を守る一番の方法は、避難をするということです。避難三原則である①想定にとらわれるな ②その状況下で最善を尽くせ ③率先避難者たれ（真っ先に逃げろ）を実践してください。想定を超えた災害を前提に「自分は大丈夫」という過信を捨て、まず自分の命を守ることを最優先に行動を起こしてください。